

# おとスマ 施工要領

天然無垢製品は、大気中や床下からの湿度の影響により、本来持っている湿度の吸排作用によって伸縮する性質を持っています。十分に換気を行い、保管、施工時は下記注意事項をよくお読みください。

## 1. 施工前

- 直射日光や雨が当たる場所、湿度が高い場所での商品の保管はお止めください。
- 天然木のため、施工前に仮並べをして色、柄のバランスをご確認ください。その際、商品に不具合がないかご確認の上、お使いください。
- 床下の湿気による突上げや、腐れを防ぐために、床下には必ず換気口の設置をお願いします。
- 床下の湿度が高くなりやすい田んぼの近く、川や海辺など、換気が十分にできない場所への施工はお止めください。
- 無塗装品を現場で塗装される場合は、180番以上の番手で素地調整を行ってください。
- 床下コンクリートなど、下地が完全に乾燥していることを確認してから、施工を始めてください。下地が乾いていない場合、フローリングや下地材に反りなどの影響を及ぼす場合があります。
- 下地に凹凸(不陸)があると製品と下地の間に隙間が発生します。不陸は平らに調整し、部分的な凹凸は必ず事前に修正してください。

## 2. 施工

- 施工箇所の気温が低い場合(5°C以下)は、接着不良の原因となりますので施工を差し控えてください。
- 無垢床ボンド直貼用:KOAMB-003(積水フーラー(株)製)をお使いください。  
クシ目ゴテを用いて、1本で約1.5m<sup>2</sup>目安に塗布してください。
- 接着材が床材表面に付着した場合は、接着材硬化前にウエスで拭きとってください。
- 玄関框、拭き出し窓、敷居、床見切、ドア沓摺りなどの部位、突き付け部には必ず際根太を使用してください。際根太は浮きがないように接着材でしっかりと固定してください。
- 際根太を使用するときは、フロア裏面の防音材をカッターナイフで削除してください。
- 貼り込み時に実を強く叩きすぎると、高湿時に膨張の原因となります。同梱の隙間ゲージ(梱包に1枚)を使って、クリアランスを取ってください。
- 壁際へは密着させず、両端合計10mm程度のクリアランスを設けてください。床材の膨張による壁や柱への影響を防ぎます。
- 掃出しサッシ、浴室サッシへの納めは、結露などによる水漏れの可能性が高いため、必ずクリアランスを取り、コーティング処理をしてください。

## 3. 養生

- 貼り込み後は、表面保護のため、床面をきれいに掃除し、細かいゴミを完全に取り除いてから養生シートを敷き、養生テープで留めてください。但し、養生テープを床面に直接貼ることは、塗装面を傷つける場合がありますので、お止めください。
- 床面全体を養生シートで覆うようにしてください。一部が露出していますと、日焼けして他の部分との色違いが生じます。